



# 防衛大学校第一期生会

## 臨時会報 (平成 26 年 12 月 19 日)

発行者  
防衛大学校第一期生会  
会長 高橋恒清  
編集者  
二宮隆弘  
山本晃三

### 対番期構想再考

高橋 恒清

八月に発行した臨時会報で、「三十一期生会に後事を託す」件について、「対番期構想」として進めてはどうかと提案しましたが、その後、この件については少なからぬ「反対」の意見が寄せられました。「一期生会の始末は一期生みずからつけるべきで、後輩に負担をかけるべきではない」と言うのが主な理由です。

現在までのところ、三十一期生会長と直接合う機会がなかったため、具体的な話は進んでおりませんが、以上のような状況から、少なくとも金銭を託すことについては白紙に戻し、今後慎重に検討する必要があると考えております。

三十一期生との絆を深めることについては、期待する声も少なくないので、役員会で検討し、三十一期生会の役員諸君と直接会って話し合う機会を持ちたいと思っております。

後輩に伝えるべき事はすでに伝えてきたと、いう意見もありますが、これから十年余にわたって自衛隊を背負って立つ三十一期生に、われわれの知識経験からなお伝えることがあれば伝えていくことは意義ある事と思えます。

### 開校記念祭・顕彰碑献花式

高橋 恒清

十一月八日、平成二十六年(第六十二)回開校記念祭に招かれ、防大を訪問しました。

防大卒業生の自衛官殉職者並びに防大在校中の殉職者及び殉職に準じる者の霊(九十三柱)を慰めるために行われた顕彰碑献花式に参列し、各期代表者とともに献花しました。

その後、創立六十一周年記念行事として実施された秋山一郎(防大十五期、ノーベル平和賞を受賞したOPCW(化学兵器禁止機関)初代査察局長)君の記念講演(演題「ノーベル平和賞授賞式に招待されて(防衛大学校卒業生として考えたこと)」)を聴講しましたが同君の並々ならぬご苦労や多大の業績を知り感銘を受けました。

### 佐久間兄を偲ぶ会 二宮隆弘

十月二十日月曜日、佐久間一君を偲ぶ会が海軍ゆかりの東郷神社 水交会で開催された。発起人である小西岑生兄の弔辞に始まり河野克俊統合幕僚長、藤田幸生水交會会長と続いた。場を変えての懇親では、武居智久海上幕僚長の献杯のほか、志摩兄等による偲ぶ談があった。ただ弔銃等は辞退されている。

クラスッドである佐久間兄の偲ぶ会として厳粛かつ盛大であったことを報告する。



一期生会ホームページの開設について 山本晃三

I T化の進む現代においては、I T化と係わることなく過ごす事ができなくなってきました。退職した各期でも半数以上の期でホームページ（以下HP）を開設しています。そこで一期生会においてもHPを立ち上げ、これを利用して同期生間の情報交流の活性化を図り、我々の生活を豊かにしてゆきたいとの考えが出てきました。

私は総務担当のI T補佐としてホームページの開設を担当する事になりました。以前にHP作成の経験がありますので一期生会のHP試作案はすぐに作れましたが、問題があります。それは保全と最終の閉鎖の問題です。I T犯罪の多い昨今、私の能力では対応できません。また、いずれHPを閉鎖する必要がありますが、誰が対応するかです。このことの対策を考えている時に、同窓会本部がサーバーを持ち、統一的なコミュニケーションサイトを作り、それを各期毎に利

用できるといふ提案がありました。この案でゆけば、保全対策もHP閉鎖の問題も同窓会本部の援助が期待できます。そこで、この同窓会本部のコミュニケーションサイトを利して一期生のHPを開設することにいたしました。来年早々に運用開始する予定です。各位の積極的な閲覧と投稿をお願いします。

一期生HPの閲覧は防衛大学校同窓会を検索し、このHP内の「一期生会」をクリックすると、各期のボタンが出ますので、一期のところをクリックすれば出てきます。

保安大学校発祥の地に記念碑を  
山本晃三

東京築地の高速道の出口の傍に海軍兵学校跡の碑があります。この碑を見て、我々が保安大学校に入校して二年間を過ごした久里浜の地に記念碑を残せないものかと思いました。幸い、我々の宿舎であった地域は、現在、海上自衛隊の官舎地域であり、校門があつた場所の石垣も残っていますので、

数年前に一期生会の資金の処理の検討が行われた際、私は記念碑の件について意見を申し述べました。その後、一期生会の役員会でも色々と研究していただいたようですが、国有地であるので記念碑は建設出来ないとの結論になったようです。今年、横須賀を訪ねる機会がありましたので、登記所に立ち寄り、元宿舎があつた場所の登記状況を調べてみました。確かに宿舎のあつた場所は国有地ですが、校門の向かって左側の、かつて国立の療養所のあつた地域は、トヨタ自動車東日本（元の関東自動車工業）の所有地になっています。

即ち、記念碑建設に適地と思われる、左側の校門の傍の石垣は民有地です。しかし、一期生会は任意団体でありますので購入して登記することは出来ません。私も役員会の一員に加えていただいていますので、何らかの策を考え、提案してゆきたいと思っておりますが、同期生諸兄もお考えいただき、ご提案をお願いしたいと思います。

九州地区一期生会報告

岡 靖人

九州地区の一期生会が、九月二十六日、博多・天神の平和楼でありました。十二名が集い、和気あいあい、盛会でした。

幹事は北村兄、  
写真を添付します。

氏名（前列）北村、中園、加来、末次（後列）岡、野田、今井、織田、深野、平岡、桐畑、小野原  
（菰田兄へのメールを転記 編集者）



市一会のお知らせ 磯谷幸三

山口 恰

皆様の協力で本年の市一会も盛会のうちに終了できました。十一月七日の定例会では、元中央病院看護総婦長の林講師による後記の講話を頂き大変参考になりました。

来年の開催は新年会を兼ねて一月九日(金)と、忘年会を兼ねて十一月十三日(金)の二回とする予定です。理由は五月の一期生会を含め、年三回で十分でないかとの意見が出され、幹事としても妥当でないかと思っております。

講話の概要 田中憲明

十一月市一会において故林則行君の奥様による講話「80歳代を元気に生きる 副題…あなたの健康寿命を延ばしましょう」を頂きました。

すでに多くの同期生諸兄が平均寿命80.21を超えておられます。健康寿命の定義によると平均寿命から介護を必要とする平均年月を差し引いた数で、80歳男性の場合70.92歳だそうです。

また、80歳の男性の平均余命は8.61歳だそうです。平均値や統計値にこだわることなく、おおいに健康寿命(介護を必要とせず、自立できる生存期間)を延ばして人生を楽しみながら優雅に生活を全うしましょう。

なお、林夫人の講話内容に関心をお持ちの方は同女史のレジュメを鈴木龍生兄から田中憲明が預かっていきますので、ご一報ください。ばメール添付でお届けします。(写真中央が林女史)



湘南便り 潜水艦見学等

高山雅司

湘南地区在住の有志は十月一日に横須賀の第2潜水隊群を訪問し潜水艦の見学を行った。潜水艦は垂直ラッタルがあり75歳以上は艦内に入れない規則があり、潜水艦に関するブリーフィングを潜水艦艦長から受けた後、潜水艦を外から見学した。その後の米海軍士官クラブでの昼食会には潜水艦部隊の幹部を招待し、潜水艦隊司令官も参加し歓談した。米軍基地の出入には幕僚長発行の入門証、あるいはバスポート、または、写真付き住民基本台帳カードが必要であった。地方協力本部を通じて申込み、潜水艦部隊の全面的な協力を得た有意義な見学で、すべてスムーズに運ぶことができた。

十月十二日に故福山重弘兄のお墓参りを、長男の弘記さんの案内により総員でお参りした。

墓参後、弘記さんと会食し、福山兄の想い出を語り合った。

(潜水艦隊司令官と 士官クラブにて)



(茅ヶ崎市の湘南公園墓地茅ヶ崎霊園にて)





終活についての過去の経緯と資料提供のお願い

事務局長

これまでの会長・役員の方々が終活について種々ご努力なさっていただいたことが判ってきた。現在の執行部活動の大きな項目はこの終活にある。過去の経緯を当時の関係者に問い合わせた結果今我々が問題として検討していることは、三十一期に後事を委託する考えを除きすでに検討されて結論が出されているということである。

まず第一に資金処置の問題がある。

これは一千万円の単位でかなり高額だ。僅か千円単位の年会費では到底貯め得ない額である。

理由はある時同窓会館建設の話が出てその準備として万単位の募金が必要となつたのである。そしてこの時若し計画が白紙になつたときは返還するものとされた由である。この返還対象者は生存者で薨去したものには香典花輪で処理されたのとの考えも同意された

といわれている。また、目的を決めて集めたお金を、目的外に使用することは、役員の方々の背信行為となつたとの意見もいただいております。

第二に靖国神社への永久献灯等の設置がある。

神社と我々の関係に直接の関係は無いとの事で否決されたとの事である。なお、新規献灯の申し込みの受付は停止されており、以後のことは未定と言う事だそうである。第三に保安大学校発祥の地への記念碑等の設置がある。

これも何故か理由は分からないが設置案は一蹴されたとの事だ。

この様な審議の事実は今のところ紙で確認されていない。若し所有している方がおればご提供いただきたくお願いする次第である。

執行部としては、かつての総会決議をそのまま尊重するのか、改めて再検討するのか、総会で皆さんのご審議を頂くことを考えなければならぬのだろう。

取り敢えずご検討の資料として提供させて頂いた。

総会の暫定案内

(二七年五月一日正午開催予定)

事務局長

既に前号でもお知らせしてあるが、平成二六年度総会はグラインドビル市ヶ谷に予約してある。正式な案内は、平成二七年三月発行予定の第三五号で行ない返答用はがきを同封する予定である。市一会も年二回開催と回数削減されているので、同期の交流を深める機会として、ぜひご出席されたい。

会報用記事の募集

事務局長

前号でもご依頼申し上げたがご紹介したい出来事などがあればご寄稿頂きたい。

特に規定等は定めてないが、常識の範囲でお願いする。細部については前号のご案内を参照頂きたい。

締め切りは、平成二七年一月末とし、原稿送付の宛先は事務局長とされたい。

同窓会事務所の移転のお知らせ

事務局長

防衛大学校同窓会の事務所は、所在していたビルの改修工事により移転を迫られていたが、十一月一日次のビルに移転した。

新宿区市ヶ谷本村町三番十号

千代田ビルF 一〇一号室

場所は防衛省正門に正対して右側。

編集後記

事務局長

同期会のあり方方には色々なご意見があるが、執行部としての役員会では、なるべく多くの意見を集約したいと考えている。大切な事柄を決心する際には、それ相應のデータが必要であろう。それも会員全員に配布されることが必要である。ということで臨時会報を発行させて頂いた。師走の候、ご自愛の上、良いお年をお迎え下さい。

平成26年度役員名簿

会長	高橋 恒清
事務局長	二宮 隆弘
陸担当	大東 信祐
海担当	高山 雅司
空担当	田中 憲明
総務担当	堀内 強定
総務IT補佐	山本 晃三
IT担当	菰田康雄、伊藤巖